

# 全国作文・創作コンテスト

## ■作文部門 最優秀賞 (和歌山県立和歌山東高等学校 3 年)

### 「輝く私になるために」

私は、小さな頃から幼稚園の先生になるのが夢です。小さな子供と遊んだりするのが好きで、身近にいる子供とよく遊んでいます。

小さな子供は、普段私たちが気にもしない所から小さな発見をしてきて、私たちにそれを教えてくれます。それがとても可愛いのです。純粋でまっすぐな子供達は、私たちが忘れていた何かを伝えようとしているのかもしれない。

例えば道を歩いていると「あ、赤い花が咲いてるよ。キレイだね」と言ってきます。普段私たちは道を歩いている時に、道に咲いている花になんて気がつかないでしょう。多分、花などを見ている余裕もなく、毎日忙しく自分の事だけになってしまっていると思います。

毎日歩く少しの距離でも、小さな子供はたくさんの事を見つけてきます。私たちが忘れかけている純粋でまっすぐな気持ちはもう一度、思い出さなければならないと思うようになりました。

私は、今のままではただ単に子供と遊んでいるだけで幼稚園の先生で必要な教育にはならないと思います。なので、大学では、子供達の純粋でまっすぐな部分は大切に伸ばしていき、楽しさや悲しさ、そしてたくさんの感情を教えていけたらいいなと思っています。

私が思う、幼稚園の先生とは、正しい事は正しいと教え、社会の縦の部分の部分を少しずつ教えつつ、常識とマナーや、体を動かす楽しさをしっかり教え、厳しい時は厳しく、楽しい時は、みんなで笑顔いっぱい楽しんでいける、それが私の思う先生だと思います。

幼稚園の先生になるには、私の思うように楽しい事ばかりではないと思います。子供の親との関係であったり、子供に対する指導においても難しい部分がたくさんあると思います。ですが、私は本当に子供が好きなので、大学でもたくさんの事を学び、自分の理想の先生図を描きながら、がんばりたいと思います。

## ■創作部門（短編小説）

### 最優秀賞 (大阪府私立宣真高等学校 3 年)

コンビニに寄るんじゃなかった。

そう思った頃には時すでに遅し、俺は気づけば地面に横たわっていた。

「にいちゃん、大丈夫か?」

目を覚ますと、視界に薄汚れた髭面。

俺の顔を覗きこんできたホームレスのおっさんは顔に笑みを浮かべていた。見世物じゃないんだぞ、と言いたいところだが口の端が切れているから痛みでしゃべるのも嫌になる。

「いってええええ!」

おっさんの言葉を無視して体を起こせば体のあちこちに痛みが走った。思わず大声を上げて、散々女に持てはやされた自慢の顔を目一杯歪めた。こんな情けないところ、俺のガールフレンド達に見られなくて良かった。必死に声を抑え、歯を食いしばるが顔はどうにもできない。(続く)

## ■創作部門（川柳）

優秀賞

夢を見る 大人になると 今を見る

(大阪府立箕面東高等学校 3 年)

人生に カーナビあれば いいのにな

(和歌山県立和歌山東高等学校 2 年)

佳作

夢がない 夢作るのが 今の夢

(大阪府立箕面東高等学校 3 年)

結婚を 夢見るうちに アラフォーか

(海南市立海南下津高等学校 2 年)

頑張り屋 母の背中を 追いかけて

(海南市立海南下津高等学校 2 年)

なるんだと 履歴書の字が 物語る

(海南市立海南下津高等学校 3 年)